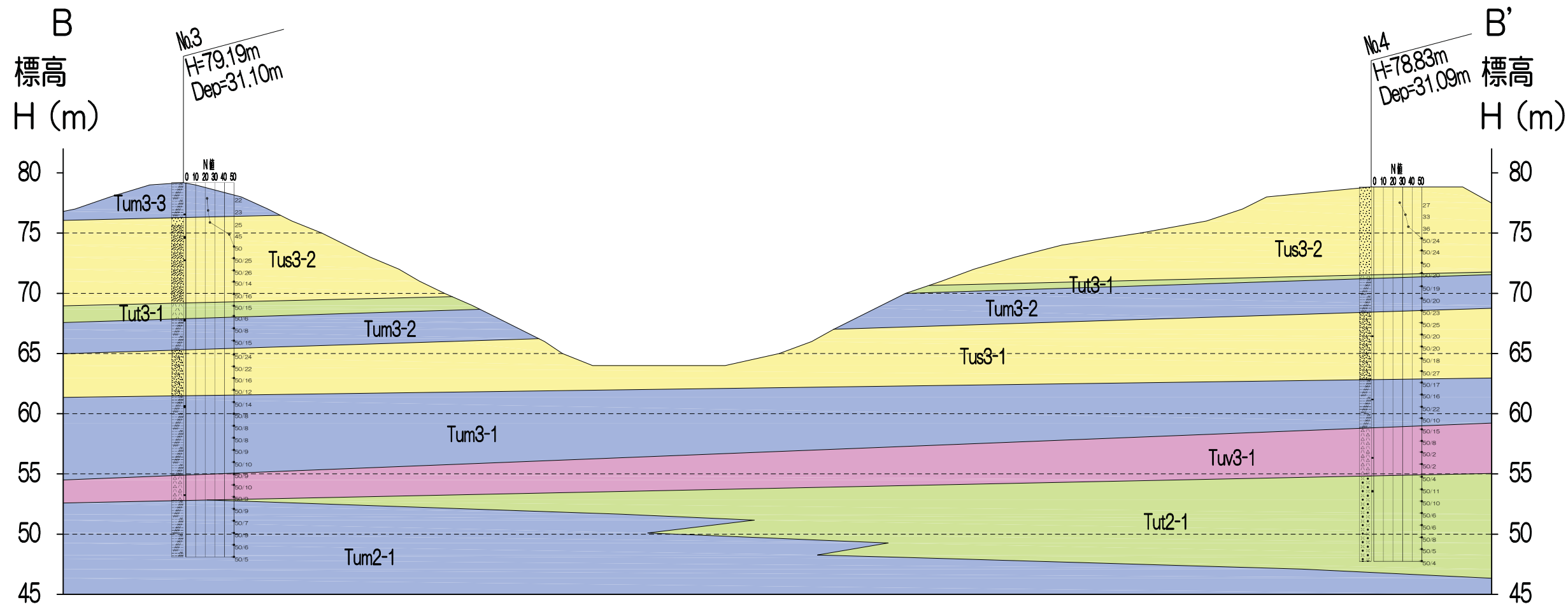
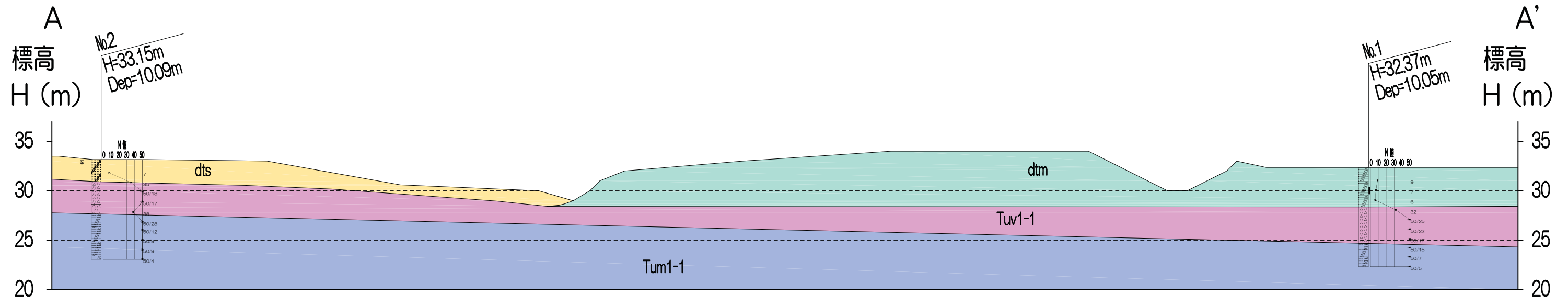




凡例 地質層序表

地質時代	地層名	地質名	記号	厚 (m)	層 数	記 事
第四紀	全新世	礫まじりシルト質砂	dts	2.25	7	径 0.2~1 mmの至角礫を混入する礫まじりシルト質砂である。径 3 mm程度の軟泥礫を含み、所々シルト分多き礫まじりシルト状を呈する。深部 0.3 m以深は腐植物、草根等を混入し、表土化している。
		火山灰質粘土	dtm	4.00	6~9	全層に火山灰質な粘土であり、所々に径 0.2 mm程度の礫石、径 1 mm程度の角礫を混入する。深部 0.5 m以深は暗褐色を呈し表土化している。
第三紀	中新世	凝灰質シルト岩3	Tum3-3	2.90	22~23	径 1 mm程度の石灰石を混入する凝灰質シルト岩を主とする。所々砂礫を散在し、砂礫は石灰石を多く含む赤褐色を呈する。
		砂岩	Tus3-2	7.10~7.30	25~50/4	細粒砂岩、粗粒砂岩からなり、所々径 0.2~1 mmの石灰石を含む。粗粒砂岩は所々礫の混入多く礫状を呈する。粗粒砂岩中には炭化物を含む。
		凝灰岩	Tut3-1	0.30~1.30	50/15~50/9	径 0.2~1 mmの石灰石、礫石を含む凝灰岩である。
		凝灰質シルト岩2	Tum3-2	2.60~2.80	50/23~50/8	比較的均質な凝灰質シルト岩であり、炭化物を混入し所々亀裂が認められる。
		凝灰質細粒砂岩	Tus3-1	3.80~5.60	50/27~50/12	全体に細粒な凝灰質砂岩である。径 0.2~0.5 mmの礫石、二枚炭化石を混入する。
		凝灰質シルト岩1	Tum3-1	4.00~6.60	50/22~50/8	径 0.2 mm程度の礫石を混入する凝灰質シルト岩である。No.4 孔で断孔水の全濁水が認められる。
		火山凝灰岩	Tuv3-1	2.10~4.00	50/15~50/2	径 0.5~2 mmの至角礫、礫石を混入する火山凝灰岩である。所々礫の混入多く礫状を呈する。
		礫石質凝灰岩	Tut2-1	7.00+	50/11~50/4	全体に径 1~4 mmの礫石を混入する礫石質凝灰岩である。所々礫の粗粒砂岩を挟む。
		凝灰質シルト岩	Tum2-1	4.70+	50/9~50/5	比較的均質な凝灰質シルト岩であり、所々凝灰質細粒砂岩を薄層で挟む。
		火山凝灰岩	Tuv1-1	3.25~3.70	32~50/17	径 0.5~1 mmの角~至角礫を混入する火山凝灰岩である。所々礫の混入多く礫状を呈する。
		凝灰質シルト岩	Tum1-1	2.35~4.50+	50/28~50/4	比較的均質な凝灰質シルト岩である。凝灰質細粒砂岩を薄層で挟み、炭化物を散かに含む。

地質断面図 縮尺 H=1:400 V=1:400